

ちょっと気になることはありませんか？

勉強が分かりにくい

友達ができにくい
相手の気持ちが分かりづらい

片付けが苦手
忘れ物が多い

偏食が多い
こだわりがある

ダンスが苦手
手先が不器用

よくけんかをする
順番が待てない

おちつきがない
ちゃんと座れない

よくしゃべる
人の話が聞けない

ちょっとしたことで
カッとなる

このようなことは、幼い子どもなら誰にでもあることです。ただし、その状態が強く表れたり頻繁だったりすると・・・

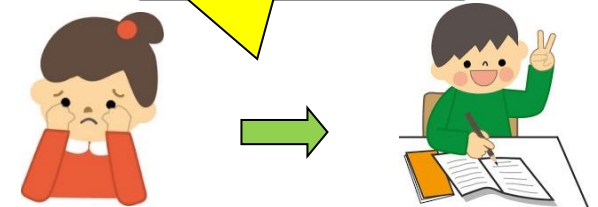
本人も周りも困る・・・

そして・・・

本人が一番つらい

だから・・・

適切な支援が必要



早く支援することで早く改善すると言われています。

実態把握

目に見える困難の背景にあるもの

目の動き

読むことが苦手

覚えるのが苦手

体の動き

勉強が分からない

ルールが分かりにくい

手先が不器用

その他・・・

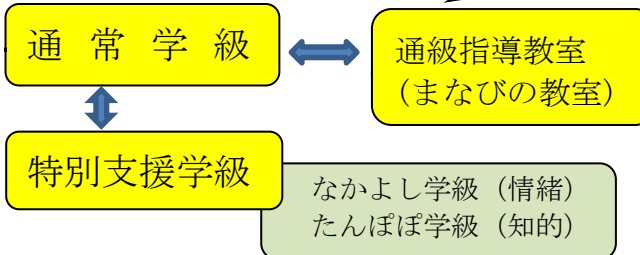
聞く力

子どもは「がんばっているのにできない。」「自分だけが怒られる。」「...という気持ちから、自信をなくしたり、どうしていいか分からなくなったりしていることがあります。子どもの実態を把握し、子どもにとってできるだけ好ましい学び方を考え、個別の教育支援計画を立てて支援していきます。

支援の形

誰もが学びやすく分かりやすい授業を目指します。少人数指導、複数体制指導など方法を工夫したり、必要に応じて個別指導をしたりします。

週1~2時間、通級指導教室で個に応じた指導、支援をします。



少人数学級で、個に合った教育内容（教育課程）を編成し、教育活動を工夫します。交流学級との交流及び共同学習を実施し、互いに学び合う機会をつくっています。

支援の工夫

時計

カレンダー

①
$$\begin{array}{r} 61 \\ \times 39 \\ \hline \end{array}$$

子どもに「分かった！」「できた！」そして「学校が楽しい！」と言ってもらえるように、子どもがもっているよさや可能性を生かして、個に応じた支援方法を工夫します。